



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【郡山市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	郡山市立安子島小学校（全校児童 36名） （保護者 8名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 体育科 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	① オリンピック・パラリンピック競技開催地区の県民・市民として、人々が互いの人権を尊重し合い、ともに力を合わせて生活する共生社会の実現を目指すことができるようにする。 ② 学校でのオリンピック・パラリンピック教育の取り組みと関係団体等の取り組みを関連づけ、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの機運醸成へとつなげられるようにする。
5 取組内容	<p>○オリンピック・パラリンピック教育推進事業地域セミナーへの参加</p> <p>○校内推進委員会の設置（事業概要説明）</p> <p>○校内推進委員会での協議（事業内容審議）</p> <p>・事業計画の立案      ・推進テーマの決定</p> <p>○講師の選定と交渉、日時の決定 → 講師派遣申請の提出</p> <p>○オリンピック・パラリンピックについて、各学年発達段階に応じ て理解できるような学習・活動を展開した。</p> <p>○調べたことやわかったことをファイリングする活動を進めてきた。</p> <p>○オリンピック・パラリンピック教育推進事業「車いすバスケットボール交流活動」 平成30年11月20日（火）午前</p> <p>・講師：佐藤 聡 氏 【北京・ロンドンパラリンピック日本代表】 車いすバスケットボールチーム「チーム・アース」選手4名      計5名</p>
	 



- 佐藤先生から教えていただいたことや交流活動当日、その後オリンピック・パラリンピックについてさらに調べたことやわかったことをまとめてきた。
- 校舎内のオリンピック・パラリンピックコーナーに、学んだことや調べたこと、感想等をまとめ、掲示することで、より一層理解・関心が深められるようにした。
- 報告書の作成、提出

6 主な成果 ○ オリンピック、パラリンピックについて理解を深め、より身近なものとしてとらえることができたことで、子どもたちの意識が変わった。

今回の「車いすバスケットボールの交流活動」がきっかけとなり、子どもたちの中に「パラリンピック・オリンピック種目のこと」や「バスケットボールへの関心」、そして「多くの人の支え合いや感謝の気持ちの大切さ」等が芽生え、育まれた。

東京2020オリンピック・パラリンピックにむけて、その機運を醸成させる意味で大変意義深い取り組み・活動となった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色) ○ 本校では、特にパラリンピック競技に関する理解を深めたいと考え、パラリンピックを中心に取り組んだ。

8 主な課題等 ○ 講師の選定に関して、どう進めていいか困っていたが、市教育委員会及び担当の方にご協力いただくことができた。

9 来年度以降の実施予定 ○ 児童の個人ファイル（ポート・フォリオ的に活用）を継続し、調べたことやわかったことについて、累積していく予定である。また、校内のオリンピック・パラリンピックコーナーを継続していく予定である。